

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

共謀罪NO！強行採決を許すな！ 国会正門前行動



2017年6月15日、午前7時46分、共謀罪法案は、良識の府とされる参議院の委員会で採決を省略する「中間報告」を用い、参議院本会議にて自民・公明両党および日本維新の会の賛成多数で強行採決され成立しました。議会は疑問や不安を解消する場であるにも係わらず、審議封殺とも言える「中間報告」は、安倍政権の強権姿勢の表れと言わざるを得ません。国民を守るはずの「法律」が国民の理解が得られないまま強行に採決・成立したことは残念でなりません。

私たちが危惧するのは「監視社会」「密告社会」の到来です。一般国民の人権や表現の自由が脅かされないか等の疑問や不安は解消されていません。

日本を監視社会にさせないために、国民の側が政府の動きや法の運用をしっかりと注視して、異議を唱え続けなければなりません。